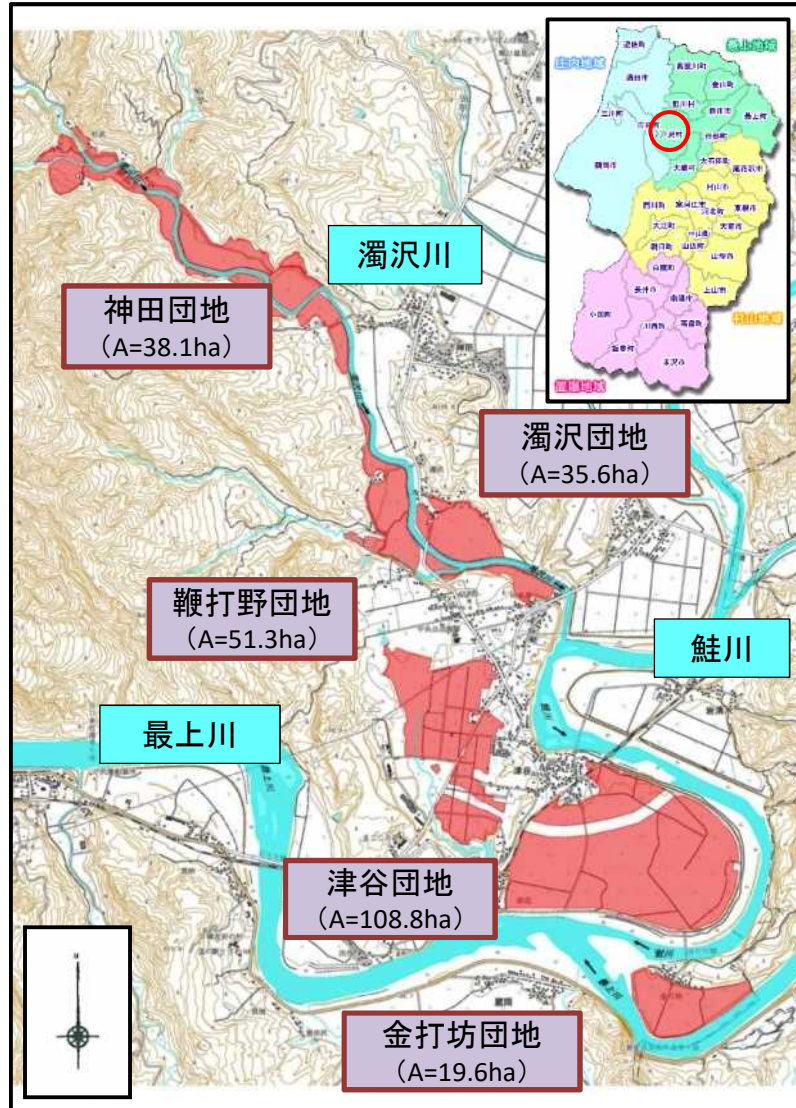


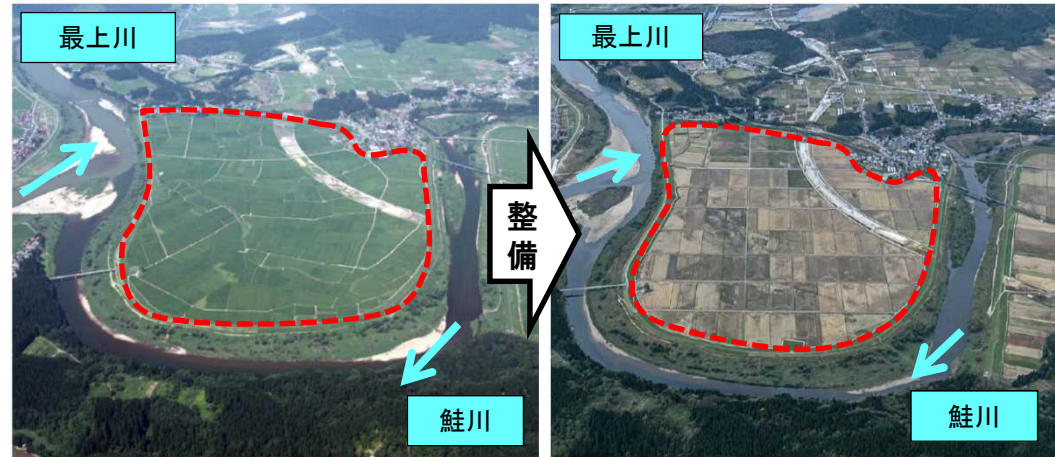
事業中評価チェックリスト

						番号	16																				
路線・河川 ・地区等名	とぎわ 戸沢	事業名	農地整備事業		施行場所	とぎわむらつや 戸沢村津谷																					
事業中評価の対象となる事由 (評価を実施する時期)		事業採択後 10 年間を経過した時点で継続中の事業 (山形県農林水産部公共事業評価実施要領 4 (1) -イ (イ))																									
事業採択年度 目標年度 [当初目標年度] (過年度評価時目標)	H23 R5 [H30] (-)	総事業費	74.7 億円	進捗度	79.9%	事業主体	山形県																				
		内工事費	66.5 億円	進捗度	78.5%	供用延長等	区画整理工 1 式 付帯工 1 式																				
		内用地費	2.4 億円	進捗度	83.3%																						
事業の目的 (地域性・特質性) <ul style="list-style-type: none"> ・本地区は最上郡戸沢村の北東部に位置し、一級河川鮭川下流から最上川までの合流付近と濁沢川両岸に展開する水田地帯であるが、現況ほ場は小区画・不整形であり、用排水路や農道も未整備なため、作業効率が悪く、担い手による農地の利用集積の支障となっている。 ・ほ場の大区画化による作業効率の向上や地下かんがい整備による高収益作物の導入を図り、担い手への農地の利用集積を推進し、地域農業の振興に資するものである。 事業工事概要 (主要工事内容) <ul style="list-style-type: none"> ・区画整理工 A = 253.4 ha 																											
事業の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> ・事業全体の進捗率は 80% で、区画整理工は 100% 実施済である。 																											
上位計画、その他事業との関係 (各上位計画で定めている項目を表すコード) <ul style="list-style-type: none"> ・第 4 次山形県総合発展計画 (R2~R6) → (政策の柱 2) 競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化 (政策 1) やまがたの農業を支える人材の育成と基盤形成 (3) 生産・経営基盤の整備 																											
今後の事業の見通し <ul style="list-style-type: none"> ・令和 3 年度：揚水機場 1 箇所、地下かんがい工 A = 33 ha、農地・農業用施設復旧工 1 式 ・令和 4 年度：地下かんがい工 A = 82 ha、確定測量 ・令和 5 年度：地下かんがい工 A = 83 ha、換地処分 																											
事業を巡る社会経済情勢等の変化 <ol style="list-style-type: none"> ① 国、県の政策や計画の転換等 意欲ある担い手による営農を推進するとともに、TPP 対策としての農業の体質強化に必要な農地整備事業であり、政策の必要性は増している。 ② 財政状況の変化 農地整備事業は全国的に増加傾向にあり、予算の不足が懸念されるが、要望に対する必要予算は確保できている。 ③ 事業実施地域の周辺環境の変化 H30、R2 年度の豪雨により、農地、農業用施設が被災し、被害の早期復旧が必要となった。 ④ 地元の協力体制の変化 管理主体である戸沢村土地改良区が中心となり、事業推進と農地利用集積に向けて取り組んでいる。また、戸沢村が事業主体となり地区内に園芸ハウス等を整備し、地区の担い手等による高収益作物 (パプリカ等) 栽培などが行われている。 ⑤ 利用者見込み者数の大幅な変化 特になし ⑥ 代替方策による必要性の変化 特になし ⑦ その他 特になし 																											
事業の投資効果 (凡例) ●貨幣換算し、費用便益分析における便益 (B) に計上している事業効果 ○貨幣換算する手法が確立されていないものの、事業により得られる効果の例 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">投資効果</td> <td colspan="2">●地下かんがいの整備により高収益作物の導入が促進され、作物生産効果が向上する</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">●ほ場の大区画化により作業効率が向上し、営農経費が軽減される</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B/C</td> <td style="text-align: center;">1.18</td> <td style="text-align: center;">B/Cの代表的な分析指標</td> <td style="text-align: center;">(B) 作物生産効果、営農経費節減効果等</td> <td style="text-align: right;">120.4 億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">(C) 事業費、維持管理費等</td> <td style="text-align: right;">102.0 億円</td> </tr> </table>								投資効果	●地下かんがいの整備により高収益作物の導入が促進され、作物生産効果が向上する					●ほ場の大区画化により作業効率が向上し、営農経費が軽減される				B/C	1.18	B/Cの代表的な分析指標	(B) 作物生産効果、営農経費節減効果等	120.4 億円				(C) 事業費、維持管理費等	102.0 億円
投資効果	●地下かんがいの整備により高収益作物の導入が促進され、作物生産効果が向上する																										
	●ほ場の大区画化により作業効率が向上し、営農経費が軽減される																										
B/C	1.18	B/Cの代表的な分析指標	(B) 作物生産効果、営農経費節減効果等	120.4 億円																							
			(C) 事業費、維持管理費等	102.0 億円																							
●コスト縮減○代替案等の可能性 工法選定並びに設計にあたり、地形地質等の現場条件に適合する材料・工法の比較設計を行い、最も合理的かつ経済性に優れたものを採用しており、代替案はない。																											
当初又は前回評価時目標年より延長となる場合の理由 (計画どおりの場合は空欄) 平成 30 年度及び令和 2 年度豪雨により被災した農地・農業用施設の復旧工事实施によるもの。																											
総合評価 () 過年度評価	継 b (ii)	総合評価 の理由	災害対応等により 5 年の遅れとなるが、事業の必要性、地域の要望・協力等を総合的に検討した結果、継続としたい。																								

位置図



整備状況 (津谷団地)

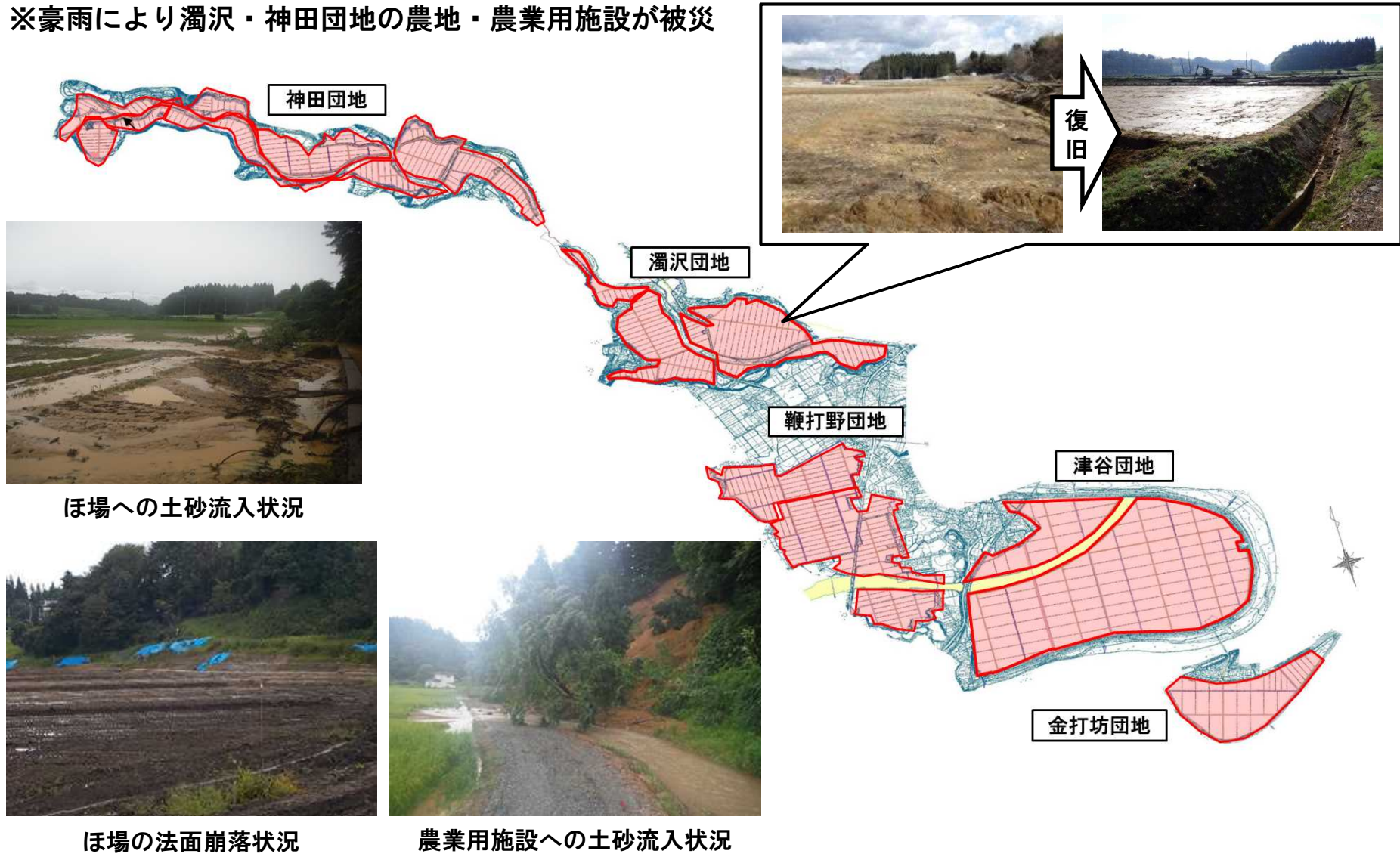


整備後の営農状況 (鞭打野団地)



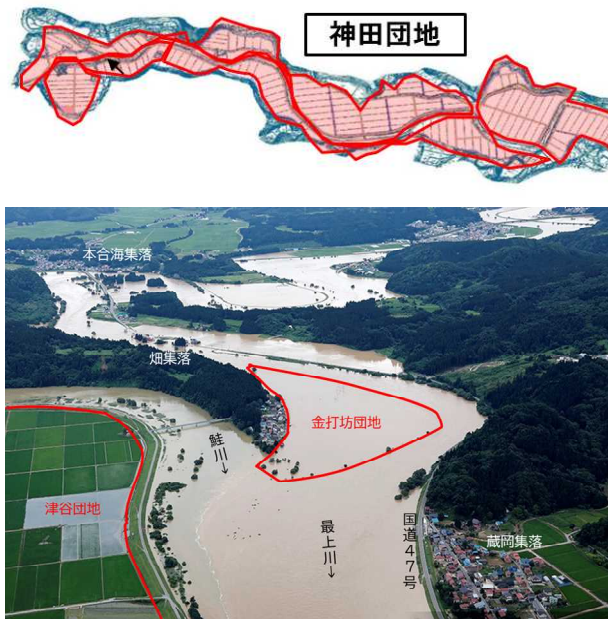
■ 平成30年8月豪雨による被災と復旧状況

※豪雨により濁沢・神田団地の農地・農業用施設が被災



令和2年7月豪雨による被災と復旧状況

※冠水により金打坊団地の農地・農業用施設が被災



冠水状況（令和2年7月29日撮影）

